

## 霜害対策のチェックリスト

茶

### 【事前対策】

#### 防霜ファン設置園の場合

内容	チェック欄	備考
3月中旬を目安に、稼働準備としてセンサーの設置と動作確認を行う。		
設置の際は、センサー部に直接朝日が当たらないようにし、コードは直接地面に置かないようにする。		
実稼働は3月下旬を目安とし、設定温度は3℃、萌芽後は4℃に設定し、以後摘採まで同じ設定とする。		

#### 防霜ファン設置未設置園の場合

内容	チェック欄	備考
寒冷紗もしくは保温用資材によるトンネル被覆を実施する。		寒冷紗は保温効果が高く丈夫である。
ダンポールなどでアーチを作り、被覆資材と株上面の空間を40 cm以上確保する。		被覆資材は高く張るほど効果は高い。

- ※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。
- ※ 日頃から気象情報を確認し、気象災害に備えるよう心掛けましょう（特に春季は天候の変動が激しいので注意が必要です。）。

## 霜害対策のチェックリスト

茶

### 【事後対策】

#### 萌芽期～2葉開葉未満で被害を受けた場合

内容	チェック欄	備考
放任し、側芽の補償を待つ。		

#### 2葉開葉以上で被害を受けた場合

内容	チェック欄	備考
被害部と無被害部がはっきりしている場合は放任して、拾い摘み又は部分摘採を行う。		
被害芽と無被害芽が混在している場合、被害芽率が高い場合は、被害部分を除く程度に浅く整枝する。被害芽率が低い時は放任とする。		
全面に被害を受けた場合は、被害部分を除く程度に浅く整枝する。		

#### 摘採直前に被害を受けた場合

内容	チェック欄	備考
被害程度が部分的な場合は、拾い摘み又は部分摘採を行う。		
被害程度がひどい時は刈り捨てる。その後、遅れ芽が出た場合は、指導機関に相談し、摘採製造するか否かを決める。		

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。

※ 日頃から気象情報を確認し、気象災害に備えるよう心掛けましょう（特に春季は天候の変動が激しいので注意が必要です）。